



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 インターニックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2657 URL <http://www.internix.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 油井 秀行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員管理本部長 (氏名) 加藤 孝雄

TEL 03-5322-1708

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	15,795	△4.3	202	△47.6	193	△47.7	△68	—
23年3月期第3四半期	16,511	40.8	386	—	369	—	465	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △172百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 300百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△7.07	—
23年3月期第3四半期	48.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,971	8,949	64.1
23年3月期	13,921	9,335	67.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,949百万円 23年3月期 9,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
24年3月期	—	8.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

23年3月期期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,710	△2.7	203	△53.3	178	△58.8	△80	—	△8.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) Internix Thai Limited 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	9,903,800 株	23年3月期	9,903,800 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	218,945 株	23年3月期	218,945 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	9,684,855 株	23年3月期3Q	9,684,855 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の落ち込みから浮上したものの、欧州の債務問題や新興国経済の鈍化による世界景気の減速懸念が強まる中で、急激な円高の進行に加え、タイの洪水の影響による部品等の供給不足が関連製品の生産等に打撃を与えたことにより不透明さが一段と増しております。

当社の企業集団を取り巻く環境については、急速な普及が進むスマートフォン(高機能携帯電話)をはじめとする一部製品について比較的堅調な動きがみられましたが、IT(情報技術)関連製品の世界的な在庫調整の影響を受けたほか、顧客先需要の伸び悩みにより厳しい対応を余儀なくされました。

このような環境のもと、当期を躍進に向けたスタートの期と位置付け、かねてより取り組んできた諸施策の基本路線を継承しつつ、引き続き、主力仕入先及び主要顧客先との更なる関係強化と商権の維持・拡大に鋭意努力するとともに、売上げ拡大のための土台づくりに努力を傾注してまいりました。その結果、後述するように、デジタル一眼レフカメラ向けや一部スマートフォン(高機能携帯電話)向けあるいは車載情報機器向けでは着実な伸びを示しました。その一方で、通信インフラ向け、パソコン向けあるいは産業用機器向けは軟調に推移いたしました。

海外ビジネスにおいては、生産移管ビジネス(国内で採用されたもので生産は海外に移管されるビジネスのこと)がおおむね計画どおりに推移するとともに、現地ビジネスの採用案件も増えております。

利益面では、売上総利益率は産業用機器向けをはじめとする利益率の比較的高い商品が貢献したこともあり、期前半は計画を上回ったものの、第3四半期に入ると商品構成の変化と仕入時と販売時の為替変動の影響により低下傾向を辿るに至りました。加えて売上げが減少したため大幅な減益となりました。なお、主要仕入先との間で、同社による取引内容に関する監査を受けた際に指摘された事項(テリトリ及び積算方法等に関する取引上の相違)について、同社との過去の取引経緯をふまえ交渉を重ねてまいりましたが、今後の友好的な継続取引を重視し、解決金として3億1千万円を同社に支払うことで双方合意に達し、これを特別損失として計上いたしました。については、誠に遺憾ながら当四半期純損益は損失計上となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が157億9千5百万円(前年同期比4.3%減)、営業利益が2億2百万円(前年同期比47.6%減)、経常利益が1億9千3百万円(前年同期比47.7%減)、四半期純損失が6千8百万円(前年同期は四半期純利益4億6千5百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(IC・半導体)

主力のIC・半導体においては、デジタル一眼レフカメラ向けが好調裡に推移したほか、注力分野の車載情報機器向けは一部で震災やタイの洪水など外部環境の影響を大きく受けたものの、売上げに着実に寄与いたしました。一方、スマートフォン(高機能携帯電話)向けや携帯電話向けは、顧客先によって好不調の差が激しく、前年同期に比べ勢いに欠け、伸びが鈍化いたしました。また、通信インフラ向けやパソコン向けなども引き続き寄与したものの、前年同期を下回りました。更には、得意分野の産業用機器向けも景気悪化の先行き不安から投資抑制の動きが広がり低調に推移いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は132億9千7百万円(前年同期比0.5%減)、セグメント利益(営業利益)は2億1千3百万円(前年同期比41.2%減)となりました。

(電子部品)

電子部品においては、地震関連機器等向けリチウム電池やブルーレイプレイヤー向けコネクタ、計測機器向け商品が寄与いたしました。また、業務用機器向けコネクタ及び液晶パネル用バックライトモジュールは、タイの洪水の影響を受けたものの、顧客先における国内拠点への代替生産の迅速な切替えにより当初計画近くまで回復いたしました。しかしながら、主力の航空機内用エンターテイメント設備向け電源が採用案件の減少等により前年同期を下回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13億9千7百万円(前年同期比4.2%減)、セグメント利益(営業利益)は3百万円(前年同期比85.9%減)となりました。

(電子機器)

電子機器においては、当期から立ち上がったLED照明向け電源モジュールが売上げに貢献したものの、主力のネットワーク機器向け商品が震災等の影響もあって前年同期及び計画を大きく下回りました。加えて、前年同期には多岐にわたって寄与した産業用機器向けやネットワーク機器向け商品が低調に推移し、全体として厳しい結果となり、当第3四半期連結累計期間の売上高

は10億9千9百万円(前年同期比34.9%減)、セグメント損失(営業損失)は1千3百万円(前年同期はセグメント利益(営業利益)1千3百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は139億7千1百万円であり、前連結会計年度末に比べ4千9百万円増加しました。このうち、流動資産は8千2百万円増加の120億7千6百万円となりました。これは主として、現金及び預金、有価証券が減少した一方で、受取手形及び売掛金、商品及び製品や未収入金が増加したことによるものです。また、固定資産は3千2百万円減少の18億9千5百万円となりました。これは主として、固定資産の減価償却により減少したことによるものです。

負債は50億2千1百万円であり、前連結会計年度末に比べ4億3千5百万円増加しました。これは主として、役員退職慰労引当金が減少したものの、仕入債務や仕入先から指摘された事項の解決金の支払い合意に伴う未払金(その他流動負債)が増加したことによるものです。

純資産は89億4千9百万円であり、前連結会計年度末に比べ3億8千5百万円減少しました。これは主として、利益剰余金、その他の包括利益累計額が減少したことによるものです。

これにより、自己資本比率は64.1%と、前連結会計年度末に比べ3.0%減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しについては、震災の影響からは脱しつつあり、タイの洪水による影響も一時的なものにとどまるとみられております。また、復興需要の本格化が期待されるものの、円高の地合いが続く中、欧州の債務危機に端を発した海外経済の減速によって景気の先行きに対する不透明感が拭えず、景気の持ち直しのペースが一段と鈍化しております。

当社の企業集団を取り巻く環境については、スマートグリッド(次世代送電網)や次世代高速通信サービスなど、次世代の社会インフラ投資への本格化に加え、スマートフォン(高性能携帯電話)やタブレット型端末(多機能携帯端末)等の携帯機器がけん引役として期待されております。その一方で、欧州の債務不安や長引く円高が企業収益や設備投資を圧迫しかねず、国内景気の下振れリスクが高まっております。加えて半導体等の需要低迷と在庫調整の長期化も懸念されております。

このような認識のもと、新たに策定した中期経営計画に基づき今後の躍進に繋げるべく確かな土台作りに全力を傾注してまいります。更には役職員一同が業務の基本に立ち返るとともに、仕入先・顧客先との一層の関係強化による売上げ拡大に取り組んでまいります。また、業務の合理化・効率化と経費の削減を強力に推し進め、経営基盤の拡充に一段と注力してまいります。しかしながら、前述した特別損失の計上と厳しい経営環境に鑑み、平成23年8月2日付で公表いたしました平成24年3月期の業績予想を下方修正いたします。

については、通期の連結業績といたしましては、売上高207億1千万円、営業利益2億3百万円、経常利益1億7千8百万円、当期純損失8千万円を予定しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

新規：Internix Thai Limited

平成23年5月9日付でタイ王国バンコク市に子会社のInternix Thai Limitedを設立いたしました。

第1四半期連結累計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,413,255	1,637,970
受取手形及び売掛金	5,141,903	5,351,027
有価証券	199,991	—
商品及び製品	2,668,710	3,199,194
仕掛品	5,434	3,534
原材料及び貯蔵品	14,028	10,920
未収入金	1,075,137	1,499,939
その他	605,402	504,864
貸倒引当金	△130,233	△131,210
流動資産合計	11,993,630	12,076,240
固定資産		
有形固定資産	725,840	711,602
無形固定資産		
のれん	97,112	77,689
その他	66,756	61,208
無形固定資産合計	163,868	138,897
投資その他の資産		
その他	1,102,665	1,107,383
貸倒引当金	△64,211	△62,582
投資その他の資産合計	1,038,453	1,044,800
固定資産合計	1,928,161	1,895,301
資産合計	13,921,791	13,971,541

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,637,262	1,928,335
短期借入金	807,875	794,350
1年内返済予定の長期借入金	600,000	300,000
未払法人税等	17,548	15,970
役員賞与引当金	6,600	2,600
その他	566,043	930,848
流動負債合計	3,635,329	3,972,104
固定負債		
長期借入金	100,000	400,000
退職給付引当金	505,904	500,159
役員退職慰労引当金	178,166	21,366
その他	167,011	128,314
固定負債合計	951,082	1,049,840
負債合計	4,586,411	5,021,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,157,792	1,157,792
資本剰余金	1,340,172	1,340,172
利益剰余金	6,758,639	6,477,105
自己株式	△126,938	△126,938
株主資本合計	9,129,666	8,848,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	269,908	200,491
為替換算調整勘定	△64,195	△99,027
その他の包括利益累計額合計	205,713	101,463
純資産合計	9,335,379	8,949,596
負債純資産合計	13,921,791	13,971,541

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	16,511,234	15,795,522
売上原価	13,497,019	12,918,000
売上総利益	3,014,214	2,877,521
販売費及び一般管理費	2,627,444	2,674,843
営業利益	386,769	202,678
営業外収益		
受取利息	7,070	6,545
受取配当金	40,502	29,181
その他	11,316	9,263
営業外収益合計	58,889	44,990
営業外費用		
支払利息	12,039	10,464
支払補償費	1,041	12,127
支払手数料	12,130	11,526
為替差損	45,362	12,608
その他	5,507	7,684
営業外費用合計	76,082	54,411
経常利益	369,576	193,257
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,606	—
固定資産売却益	3,472	—
投資有価証券売却益	30	22,080
特別利益合計	5,109	22,080
特別損失		
固定資産除却損	1,809	937
投資有価証券売却損	1,182	—
投資有価証券評価損	3,063	47,789
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,339	—
解決金	—	310,400
特別損失合計	21,395	359,127
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	353,291	△143,790
法人税、住民税及び事業税	9,820	11,293
法人税等調整額	△121,565	△86,617
法人税等合計	△111,744	△75,324
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	465,035	△68,466
四半期純利益又は四半期純損失(△)	465,035	△68,466

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	465,035	△68,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△141,690	△69,416
為替換算調整勘定	△22,776	△34,832
その他の包括利益合計	△164,466	△104,249
四半期包括利益	300,569	△172,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	300,569	△172,716
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I C ・ 半 導 体	電 子 部 品	電 子 機 器	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	13,359,375	1,458,359	1,690,167	16,507,902	3,332	16,511,234	—	16,511,234
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	5,386	5,386	△5,386	—
計	13,359,375	1,458,359	1,690,167	16,507,902	8,718	16,516,620	△5,386	16,511,234
セグメント利益 又は損失(△)	362,698	21,741	13,861	398,300	△12,173	386,127	642	386,769

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、検査治具の作製を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	I C ・ 半 導 体	電 子 部 品	電 子 機 器	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	13,297,995	1,397,590	1,099,936	15,795,522	15,795,522	—	15,795,522
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,297,995	1,397,590	1,099,936	15,795,522	15,795,522	—	15,795,522
セグメント利益 又は損失(△)	213,317	3,076	△13,715	202,678	202,678	—	202,678

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。